



東陽病院 鈴木健士 内科医師

脂肪の値は食事をとつていない時に採血しないと正確な値が出ませんのご注意ください。よく患者さんに「血液検査でガンがあるかわかりませんか」と聞かれます。確かにある種のガン

光町のみなさんこんにちは。内科の病気についてはいままでいろいろとお話ししましたので、今回はいろいろな検査についてお話ししたいと思います。まず検査というと一番に連想するのは血液検査かと思えます。血液検査で何がわかるかと言うと、貧血があるか、肝臓、腎臓の機能の異常、コレステロールの値などです。

一般に貧血と言うと立ちくらみがして倒れたりすることを想像すると思いますが、ここで言う(医学的な)貧血とは、血液の中の赤血球(赤い細胞)が少なくなっていることです。ですからほとんど症状のない方の中にはいますのでご注意ください。貧血が他の病気の予兆として出てくることもありますので、たかが貧血と油断しないできちんと調べてください。

また肝臓や腎臓の検査は正常値であっても異常がないとは言いきれません。それではどうすればいいかと言うと、肝臓であればさらに肝炎ウイルス検査、腹部超音波検査など、腎臓であれば尿検査などを行えばもっと詳しい状態がつかめると思います。

コレステロール、中性

健康診断で異常が見つかるのと誰でも慌てたり、恐ろしくなったりします。しかしそのまま逃げてしまつては解決出来るはずはありません。きちんと精密検査を受けて自分の手で健康を維持して頂きたいと思えます。

◆東陽病院の休日当番日
11月16日(日) 午前9時～午後5時
医師2名が待機して救急患者の治療にあたります。来院の際は事前に電話をしてください。

健康への

メッセージ

シリーズ ④

検査のはなし

の際に異常値を示す血液検査はありますが、これが正常でもガンがないとは言えないのが実状です。ですから現時点では血液検査ではガンがないとは言えないと考えたほうが良いと思います。

次に一般的な検査は尿検査かと思えます。尿に蛋白や潜血(肉眼ではわからないが血液が混じっていること)の反応が見られた場合には、腎臓や膀胱に異常があることがあります。また糖の反応があれば、糖尿病かも知れません。

しかし、尿蛋白は激しい運動をした後や熱が出ている時には正常な人でも出ることがありますし、潜血反応も病院で再検査してみたら陰性だったという例も多いのです。尿糖も食後すぐに採尿すれば正常な人でも出ることがあります。異常が見つかったら慌てずに医療機関で再検査を受けてください。

胸部レントゲン検査もよく行われる検査です。異常イコール肺ガンと考えている方もいるかも知れませんが、昔の結核や肺炎の跡がかげとして見えることもあります。悲観しないでCT検査などの精密検査を受けてください。



ほんの

森

＝ 町立図書館 ＝

☎843311

今月の新刊

- ▶ 「月のしずく」 浅田次郎／著
直木賞受賞後の待望の新刊。
- ▶ 「着物をめぐる物語」 林真理子／著
「不機嫌な果実」に次ぐ話題の新刊。
- ▶ 「陪審評決」 ジャン・グリシャム／著
人気作家の一冊、まず読んでみてください。

今月の展示

今月は、いろいろなペットの本をご紹介します。各種ペットの飼い方、育て方の参考にしてみたいかがですか。次に紹介する本の他、たくさん用意しました。

- 「よいイヌ、わるい癖」
- 「よいネコ、わるい癖」
- 「世界の犬カタログ」
- 「金魚の飼い方」



11月の休館日

5日(水)・10日(月)・17日(月)・24日(月)・25日(火)・28日(金)